



小・中学校卒業式

3月11日に市立3中学校、3月18日に市立8小学校で卒業式が挙行され、児童326人、生徒347人が新たな道へ進みました。

千代田中学校、志筑小学校、新治小学校、七会小学校、上佐谷小学校の卒業生は、各学校が令和4年3月31日で閉校となることから、長い歴史を締めくくる最後の卒業生となりました。

学び舎への感謝の気持ちがあふれる式典となり、学校生活や思い出を振り返って、涙する卒業生の姿もありました。在校生の温かい拍手とともに見送られながら、新たな一歩を踏み出した卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

千代田中学校



志筑小学校



見守り活動への協力に関する協定

3月10日、「見守り活動への協力に関する協定」を株式会社カスミと締結しました。この協定は、両者が相互に協力・連携し、移動販売を実施することで、買い物困難者への支援と併せて、コミュニケーションの場をつくり、高齢者などの見守り活動を推進することを目的としています。移動販売は4月25日曜からの運行開始を予定しています。官民連携のもと、市民ニーズに対応できるよう努めていきます。



全子連表彰 さかたまさあき 坂田正明会長

3月14日、全国子ども会連合会から「令和2年度全子連表彰」を受けた市子ども会育成連合会の坂田正明会長へ、市より表彰状の伝達を行いました。坂田会長は、長年にわたり子ども会の指導者・育成者として子どもたちの育成に尽くした功績が認められ、表彰されました。「素晴らしい賞を頂き、皆さまには深く感謝申し上げます。明るく元気で夢多き子ども達が増えますように、尽力して参ります」と表彰の喜びを話してくれました。



感染症に挑んだ市出身の医師を紹介

3月21日、歴史博物館研修施設で、記念講演会「感染症への挑戦 古宇田徹太郎」を開催しました。歴史博物館長より、東大医学部皮膚科に学んだ下土田出身の古宇田徹太郎の感染症に挑んだ生涯について、研究、診療・治療など、さまざまなエピソードや交流関係の視点で紹介しました。徹太郎が病院内で琴を演奏し、現在のアーツ・イン・ホスピタル(病院アート)の先駆けであることを説明すると、参加者は興味深そうに聞いていました。



いばらきっ子郷土検定交流会

3月1日、「いばらきっ子郷土検定県大会交流会」がオンラインで行われました。市の代表となった千代田中学校の生徒3人が、県内の他市町村の代表生徒たちとパソコンの画面を通して交流しました。各中学校がそれぞれ紹介をした後に、茨城県に関する問題で対決。かなり難しい問題ばかりでしたが、生徒たちは協力しながら挑み善戦しました。交流を通して、自分たちが住む地域への興味や関心を深めることができた1日となりました。



小・中・義務教育学校入学式

4月7日と8日、市立の小・中・義務教育学校7校で、入学式が挙行されました。澄み切った青空に満開の桜が咲き誇る中、児童277人、生徒270人が新たに校門をくぐりました。霞ヶ浦北小学校には、33人の新1年生が入学。式典では、先生に名前を呼ばれると、緊張しながらも元気いっぱい返事をし、起立をしていました。これから友達と一緒に、希望に満ち溢れた楽しい学校生活を送ることでしょう。

